

# 「がん」の時代を生きる

～島根県・健康特別講座～

参加費無料

## 基調講演 「乳がんなんか、負けないために」



日本赤十字社 松江赤十字病院  
乳腺外科部長 兼 化学療法科部長 曳野 肇 先生

＜プロフィール＞

1963年松江市生まれ。1987年自治医科大学卒業し2006年松江赤十字病院入職。以後、乳腺外科副部長、化学療法科部長を経て、2015年現職。「地域連携を育てる乳癌診療の基礎知識」の執筆などを通して、地元の乳がん診療の充実に尽力している。日本乳癌学会専門医、乳腺指導医、日本乳癌学会評議員、日本乳癌検診学会評議員。

## 基調講演 「知れば安心 がん情報」

いざというときの相談先

島根県のがん相談支援センターの紹介も！



国立研究開発法人

国立がん研究センター

がん対策情報センター長 若尾 文彦 先生

＜プロフィール＞

1961年生まれ。1986年横浜市立大学医学部卒業し、88年国立がんセンター中央病院入局。以後、放射線診断部医長、がん対策情報センター副センター長を経て、2012年3月現職。ホームページ「がん情報サービス(<http://ganjoho.jp/public/index.html>)」や「がんの冊子」などを通して、信頼できる解りやすいがん情報の発信と普及に取り組んでいる。

日時

2018年2月1日(木)  
15:30～17:00 (開場 15:00)

場所

くにびきメッセ 多目的ホール  
〒690-0826 島根県松江市学園南1丁目2番1号

共催：第一生命保険株式会社・島根県

後援：アメリカンファミリー生命保険会社・株式会社山陰中央新報社



【申込方法】 下記申込書に必要事項をご記入のうえ、当社担当者にお渡しください。

【問合せ先】 第一生命保険株式会社 島根支社  
TEL：0852-26-2200(代) (担当：宮脇・田邊)

【定員】 300名 ※定員となり次第、締め切らせていただきます。

お届けしたのは・・・

当社では、記入いただいた内容を以下の業務などに活用いたします。

- 関連会社・提携会社を含む各種商品・サービスの案内・提供
- 当社業務に関する情報提供・運営管理

※各種商品・サービスの詳細は、当社ホームページ

(<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>) でご覧いただけます。

C17-805-0029 (2018.1.5)

キリトリ線

「がん」の時代を生きるセミナー（松江B L） 参加申込書

フリガナ		性別	男	・	女
氏名		生年月日	(大・昭・平)	年	月 日
住所	〒	—			
連絡先(電話番号)		E-mail			



旧厚生省により、6施設ある国立高度専門医療研究センターのひとつとして創立される。日本のがん治療・研究を牽引



社会と協働し、すべての国民に最適ながん医療を提供する

第一生命と国立がん研究センターは、2012年1月にがんの情報提供に関する包括的な連携協定を締結しました。

第一生命は、国立がん研究センターとともに、がんに関する専門性の高い情報を、セミナーや情報紙などを通じてわかりやすく提供していきます。

島根県のがん情報

島根県  
多くの方が亡くなるがんの順位

	男性	女性
1位	肺がん	大腸がん
2位	胃がん	肺がん
3位	大腸がん	胃がん
4位	肝臓がん	すい臓がん
5位	すい臓がん	胆のう・胆管がん

島根県では、2015年  
**2,529人**が  
がんで亡くなっています。

全国ランキング  
がんで亡くなる人口あたりの数



全国ランキング  
がん検診受診率 **国の目標 受診率 50%**

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1位	山形県 (61.9%)	山形県 (59.5%)	山形県 (65.2%)	山形県 (61.2%)	山形県 (55.9%)
2位	新潟県	宮城県	新潟県	山梨県	宮城県
9位	島根県 45.9%	島根県 46.6%	島根県 53.8%	島根県 43.0%	島根県 40.5%
45位	徳島県	山口県	奈良県	北海道	和歌山県
46位	大阪府	徳島県	大阪府	山口県	山口県

厚生労働省/「平成27年 人口動態統計」2015年がんの部位別死者数、2015年(全てのがん)の75歳未満年齢調整死亡率(男女計)

対象:2016年の熊本県での調査は実施されていない、胃がん・大腸がん・肺がんは40~69歳男女・過去1年間、乳がんは40~69歳女性・過去2年間、子宮頸がんは20~69歳女性・過去2年間の受診率 厚生労働省/「平成28年国民生活基礎調査」

キリトリ線

「がん」の時代を生きる  
申込書

お届けしたのは・・・